opusdei.org

教皇フランシスコ、祈りの時を主宰

教皇フランシスコは、3月27日の18時（日本時間28日午前2時）、聖ペトロ大聖堂の前庭で祈りの時を主宰することを表明しました。また、インターネットの動画配信によって、この祈りに霊的に参加するよう呼びかけています。

2020/03/27

カトリック中央評議会からの知らせ：リンク

動画配信リンク：https://www.youtube.com/watch?v=VJHI8bI0LWg

次の金曜日、3月27日の18時（日本時間28日午前2時）には、同じ意向のために、聖ペトロ大聖堂の前庭で、無人の広場を前に、祈りの時を主宰します。コミュニケーション・メディアを通して、この時刻から霊的に参加するようお願いしたいと思います。わたしたちは神のことばを聞き、祈りをささげ、聖体礼拝を行います。その後、わたしは「ローマと全世界へ（ウルビ・エト・オルビ）」の祝福を送ります。その祝福によって、全免償（注）を受ける可能性が付与されます。

新型コロナウイルスのパンデミックに対して、全世界の祈りと思いやり、優しさで対抗していきましょう。一致を保ちましょう。独りぼっちで試練に立ち向かっている人々

が、わたしたちがともにいることを感じられるようにしましょう。わたしたちは、医師や医療従事者、看護師、ボランティアの皆さんに寄り添います。わたしたちのためとはいえ、厳しい措置を講じなければならない関係当局と、わたしたちはともにいます。わたしたち皆のために政府が求めていることが遂行されるよう、路上で秩序の維持に努めている警察官や兵士の皆さんに寄り添います。わたしたちはすべての人とともにいます。

（注）「ウルビ・エト・オルビ」の祝福に際して与えられる全免償は、テレビやインターネット、ラジオを通して、祝福にあずかり、自分の罪を悔いて、定められた祈り（「使徒信条」「主の祈り」「アヴェ・マリアの祈り」）を唱え、できるだけ早く「ゆるしの秘跡」を受け、聖体拝領することを約束することによって受けられます。免償とは、すでにゆ

るされた罪にともなう有限な罰のゆるしです。成聖の恩恵の状態にあり、定められた条件を満たす者に、教会は免償を与えます。

---

pdf｜から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/inori-no-toki-o-shusai/ (2025/12/16)